

2027年3月期 第1四半期 決算短信補足資料

2026年8月4日



証券コード:4886

あすか製薬ホールディングス株式会社

ハイライト

2027年3月期 第1四半期 連結

売上高

✓ **173億円、前同比1.5%減少**

国内医薬品事業の薬価改定に加え、海外事業等の影響により減収

売上原価

✓ **92億円、前同比2.4ポイント増加**

原材料価格等の上昇により増加

販売費及び 一般管理費

✓ **73億円、前同比1.8ポイント増加**

臨床試験の進捗に伴う研究開発費の増加等により増加

営業利益

✓ **7億円、前同比51.4%減少**

売上原価および研究開発費の増加等により減益

2027年3月期 連結

※変更はありません

業績予想

✓ **売上高 730億円、前同比2.6%増加**

✓ **営業利益 62億円、前同比6.3%増加**

損益計算書(連結)

単位:百万円	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	17,641	17,384	△ 257	△ 1.5%
営業利益	1,464	711	△ 753	△ 51.4%
経常利益	1,594	817	△ 776	△ 48.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,255	533	△ 722	△ 57.5%

- ✓ 医療用医薬品事業における継続的な薬価改定の影響に加え、海外事業における中東情勢の悪化に伴う主力製品の原薬調達難等により、売上高は減収となった。
- ✓ 利益面では、原材料価格等の上昇による売上原価の増加に加え、臨床試験の進捗に伴う研究開発費の増加等により、営業利益は前年同期比51.4%減、経常利益は同48.7%減、親会社株主に帰属する四半期純利益は同57.5%減となった。

セグメント別売上高(連結)

単位:百万円		2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	売上 構成比	増減額	増減率
医療用医薬品事業	売上	14,515	14,484	83.3%	△ 31	△ 0.2%
	損益	1,698	1,132	—	△ 565	△ 33.3%
アニマルヘルス事業	売上	1,841	1,952	11.2%	111	6.1%
	損益	128	44	—	△ 84	△ 65.4%
海外事業	売上	1,226	908	5.2%	△ 317	△ 25.9%
	損益	58	△ 35	—	△ 94	—
その他事業 (臨床検査、医療機器等)	売上	58	38	0.2%	△ 19	△ 33.4%
	損益	△ 2	△ 8	—	△ 6	—
売上合計		17,641	17,384	100.0%	△ 257	△ 1.5%

- ✓ 医療用医薬品事業は、薬価改定等の影響により、前同比で微減となった。内科領域製品の「チラーゼン」、「リフキシマ」、泌尿器科領域製品の「リユープロレリン」が堅調に推移した一方で、産婦人科領域製品の「ドロエチ」等が減収となった。
- ✓ アニマルヘルス事業は、飼料添加物等が伸長したことにより、売上高は前同比6.1%増加となった。一方で、飼料添加物の仕入価格の上昇等により減益となった。
- ✓ 海外事業は、主力製品の原薬調達難等の影響により減収減益となった。

主要製品売上高(医療用医薬品事業)

単位:百万円

領域	区分	製品	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期		2027年3月期計画		ご参考	特記事項
			実績	実績	前同比(%)	見込	前同比(%)	期初計画	
内科	先発品	甲状腺ホルモン製剤 チラーヂン	2,125	2,257	6.2%	9,082	3.5%	9,082	薬価上昇に加え、数量も増加
	先発品	難吸収性リファマイシン系抗菌薬 リフキシマ	1,902	1,982	4.2%	8,023	1.8%	8,023	ほぼ想定通りの進捗
	AG	高血圧治療剤 カンデサルタン類 ※1	2,074	1,814	△ 12.5%	7,213	△ 8.5%	7,213	薬価はダウンしたが、数量はほぼ維持
	先発品	抗甲状腺剤 メルカゾール	406	434	6.7%	1,745	5.5%	1,745	薬価上昇に加え、数量はほぼ維持
産婦人科	先発品	子宮筋腫・子宮内膜症治療剤 レルミナ	2,768	2,776	0.3%	11,340	1.5%	11,340	薬価はダウンしたが、数量は増加
	GE	月経困難症治療剤 ドロエチ	2,022	1,946	△ 3.8%	7,678	△ 7.6%	7,678	薬価はダウンしたが、数量は増加
	AG	月経困難症治療剤 フリウエル	747	636	△ 14.8%	2,586	△ 13.0%	2,586	薬価はダウンしたが、数量はほぼ維持
	先発品	黄体ホルモン製剤 ルテウム	538	553	2.9%	2,197	△ 3.2%	2,197	競合品の影響が落ち着き、堅調に推移
	先発品	経口避妊剤 スリンダ	74	241	224.9%	1,019	159.9%	1,019	想定通りにシェア拡大
泌尿器科	GE	LH-RH誘導体マイクロカプセル徐放性剤 リユープロレリン ※2	962	1,064	10.5%	5,596	44.2%	5,596	SR製剤の先発品からの切替活動に注力

※1 配合剤を含む ※2 1.88mg製剤は産婦人科適応のみだが、3.75mg製剤とSR製剤(11.25mg、2025年12月発売)との合算値

主要事業分野別売上高(アニマルヘルス事業)

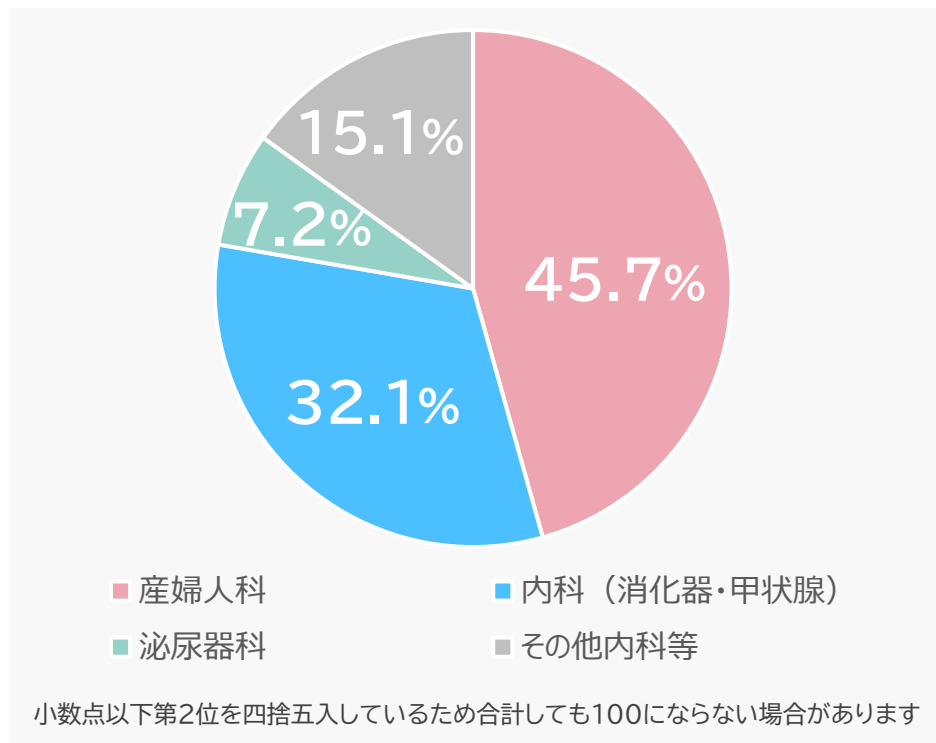
単位:百万円

事業分野	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期		2027年3月期	
	実績	実績	前同比(%)	見込	前同比(%)
飼料添加物 混合飼料 飼料原料	1,143	1,307	14.4%	4,469	△ 1.0%
動物用医薬品 (畜水産+CA※)	674	636	△ 5.7%	2,827	7.1%

✓ 動物用医薬品が前同比5.7%減となったものの、飼料添加物等は堅調に推移し前同比14.4%増となった。

領域別売上高比率と先発品・GE品売上高比率

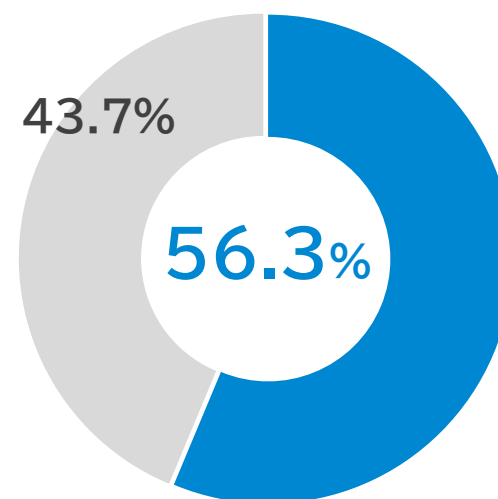
領域別売上高比率
(2027年3月期 第1四半期)



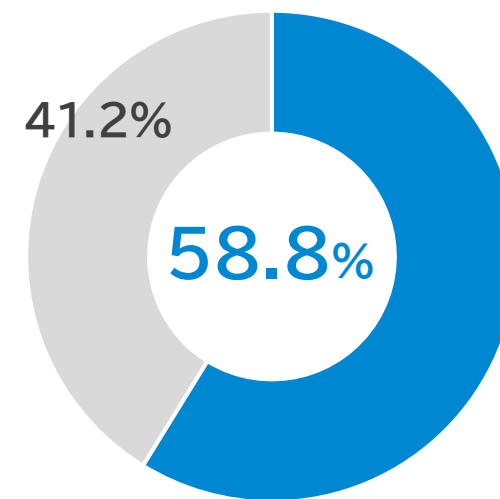
先発品・GE品売上高比率

■ 先発品 ■ GE品

2026年3月期
第1四半期



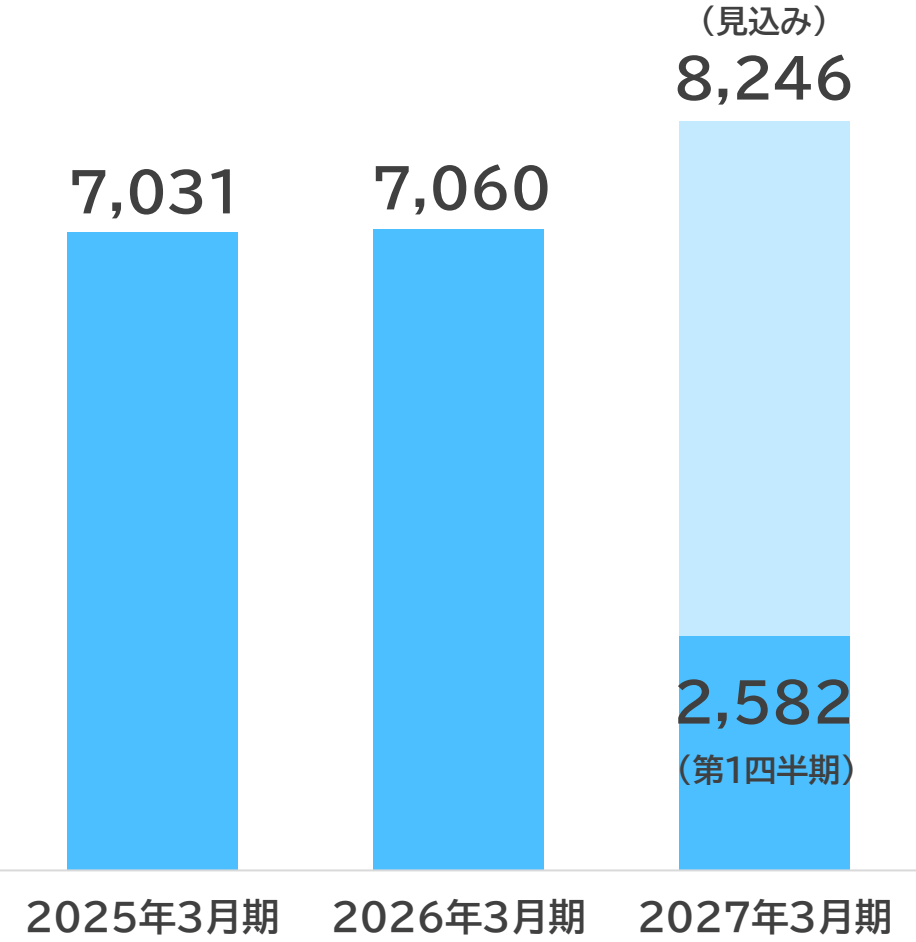
2027年3月期
第1四半期



スリンダ、リフキシマ、レルミナ、チラーヂン等の伸長により、先発品比率は2.5ポイント増加

研究開発費推移

単位:百万円



2026年8月4日時点

開発番号(一般名)／領域・効能	状況
AKP-022(レルゴリクス配合剤) 子宮筋腫	PhIII実施中
AKP-022(レルゴリクス配合剤) 子宮内膜症	PhIII実施中
LPRI-CF113(ドロスピレノン) 月経困難症	PhI/II実施中
AKP-SMD106(治療用アプリ※1) 月経前症候群・月経前不快気分障害(PMS・PMDD)	特定臨床研究※2 実施中
AKP-009(ルダテロン酢酸エステル) 多嚢胞性卵巣症候群(PCOS)	開発準備中
MCN-009(治療用アプリ※1) 過敏性腸症候群(IBS)	検証的治験※3 実施中
AKP-009(ルダテロン酢酸エステル) 前立腺肥大症	PhII実施中
AKP-021(mPGES-1阻害剤)	PhI実施中
AKP-017(テストステロン経鼻剤)	開発準備中

※1 薬事上の一般的名称は新設予定のため未定
※2 医療用医薬品PhII相当、サスメド(株)との共同開発
※3 医療用医薬品PhIII相当、(株)MICINとの共同開発